

② 欧米の情勢とファシズム

世界恐慌…1929年10月、アメリカのニューヨーク株式市場の株価が大暴落をきっかけに始まった世界的な不景気と経済混乱。

(1) ファシズム

第一次世界大戦後のヨーロッパでは、民主主義が発展した一方で、(①)とよばれる政治運動も登場しました。ファシズムは民主主義を否定して、個人よりも民族や国家を重視する(②)主義を唱え、対外的には武力による侵略を主張しました。このファシズムは、大衆の支持を得た運動としてイタリアで生まれ、ドイツで最も勢力を強めました。

(2) ドイツのファシズム

第一次世界大戦で敗れたドイツでは、(③)条約が戦勝国から押し付けられたものと考えてられており、また、賠償金が重い負担になって、経済は混乱していました。



ナチスの宣伝
大衆の受け入れ能力は極めて限られており、説得力は薄弱であるが、そのかわりに容れられることにかけては実に早い。この事実から、全ての効果的な宣伝においては、標的をごく一部にし、それをスローガンのように利用し、最低レベルの人間がその言葉で目的としたものを感じることが出来るまで、流まり文句を使い続けなくてはならない。(部分訳) (アドルフ・ヒトラー「我が闘争」)

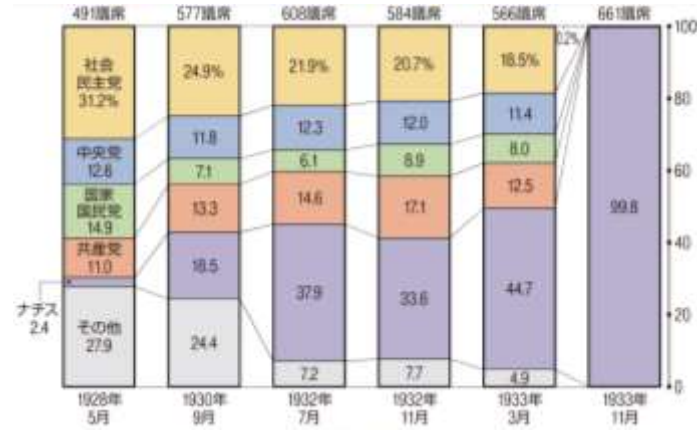
「1兆マルク」紙幣(下)と札束で遊ぶ子ども
ドイツで発行された1兆マルク紙幣には、前述しないように「1000×10」などと書かれています(黄緑く部分)。ドイツでは物価が大きく上がり、価値が低下した札束はおもちゃにされました。



こうした中で、(④)の率いる(⑤)(国民社会主義ドイツ労働者党)はベルサイユ条約に対する国民の不満をあまり、ユダヤ人を迫害し、共産主義などを攻撃しながら、ドイツ民族の優秀さを強調する宣伝活動によって注目を集めました。



ベニート・ムッソリーニ(左:1883~1945)とアドルフ・ヒトラー(1889~1945)
イタリアのエチオピア侵略は国際的に非難されましたが、ナチス-ドイツはイタリアに接近し、両国は関係を強めていきました。



世界恐慌による深刻な不況が始まると、ナチスは混乱の中で勢力を大きくのばし、1932年には議会で第一党になりました。ヒトラーは1933年に首相になると、ほかの政党を解散させ、民主的な(⑥)を停止して独裁を確立しました。また、(⑦)から脱退し、国際的な世論を無視して

軍備を増強しました。ドイツでは、公共事業と軍需産業によって経済が回復しましたが、軍事大国になり、人々の自由はうばわれ、秘密警察が国民を監視し統制する全体主義の国家になりました。

(3) イタリアのファシズム

イタリアは、第一次世界大戦の戦勝国でしたが、戦争の被害は大きく、経済は混乱していました。ファシスト党を率いる(③)は領土問題や共産主義の拡大に対する国民の不満をあまりながら、1922(大正11)年に首相になりました。ムッソリーニは、ほかの政党を禁止して独裁を行い、言語や集会の自由を制限しました。また世界恐慌の後に経済が行きづまると、エチオピアを侵略し、1936(昭和11)年にこれを併合しました。

まとめ
